

石富 恵梨



今回紹介するのは、法学部3年生の石富恵梨さんです。岡大のことをもっと知りたい。そんな思いが高じて、気付けば津島キャンパスの名所を案内する「津島キャンパスウォークツアー」の学生ガイドに。キャンパスガイド「岡山大学を歩く2010」の編集委員でもある彼女にインタビューしました。

開放感にはまりました

出身は、鳥根県松江市。中学時代に受けた裁判所の体験学習が意外に面白くて、「裁判や法律についても詳しく知りたい」と法学部を目指していました。そこで、岡大のオープンキャンパスに来てみると、豊富な緑に囲まれ、圧倒されんばかりの広さ。しかも、敷地内に道路が走っている。「なんて開かれた大学な

の」と好印象を抱き、受験を決めました。

大学のことをもっと知りたい

入学してちょうど1年が過ぎた春休み。「津島キャンパスウォークツアー」の学生ガイド募集が目に残りました。「自然豊かな広いキャンパスに憧れて入学し、2年生になるといいうの、まだまだ大学のことを、何

も知らないなあ」。そう思ったらわたしの中の探究心が目覚めたみたい。学生ガイドに名乗りを上げ、もっと大学のことを知りたいという一心で、今日まで務めています。

ガイドはとても楽しい

ツアーでは、わたしたち学生ガイドが1時間半ほどかけ、学外の方にキャンパスをご案内します。参加されるのは、年配の方から、岡大を目指す高校生までさまざま。年配の方とは、自然や秘められた歴史、高校生とは学生生活についてお話ししながら、開放感あるキャンパスを巡ります。わたしは、もともと、人と話すのが大好きなので、もう楽しくて楽しくて。

時の経つのも忘れそうです。また、ツアーで紹介するためにキャンパスについて学んだことで、大学への興味も高まりました。

女子学生寮に感心

ツアーガイドの縁で、キャンパスガイド「岡山大学を歩く2010」

の編集にも参加しました。この中で、もっとも印象に残ったのは、取材を担当した女子学生寮。寮生活は想像していたよりずっと自由で、寮生に対する信頼の厚さを感じました。また、全室が個室で、4畳の限られたスペースを、みなさん工夫して使っていて感心しました。共同生活で気になるのは、掃除などの当番ですが、「それほど大変ではなく、至って快適」だそうです。

わたしは文系で、本はたくさん読んできたつもりです。キャンパスガイドの編集では、逆に、発信する立場で記事を書く経験ができ、新たな発見がたくさんありました。この体験は、これからの就職活動に活かしたいです。

話すことが大好きなので、マスコミ系もいかな、と考えています。

岡大に来て良かった

ツアーのガイドや、キャンパスガイドの編集を通じ、本当に「岡大に来て良かった」と感じています。キャンパス内では、近隣の人たちが散歩しているし、公開講座は、一般の人にもわかりやすいと好評。「開かれた大学」だと思います。ツアーやキャンパスガイドによって、地域の方や受験生に、岡大をもっと身近に感じていただけたらうれしいですね。



書名：CAMPUS GUIDE 2010/岡山大学を歩く
著者：『岡山大学を歩く』編集委員会
価：1,000円（税込み）
判型：A5判（160ページ）
発行日：平成22年3月25日
発行：書肆玄工房（岡山市北区丸の内2-11-20）
販売：岡大生協（「マスカットユニオン」内のブックストア）、岡山県内一般書店
ご注文：書肆玄工房 e-mail:shigai@snow.plala.or.jp